

授業科目	子どもの健康と安全					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	櫻井 裕介、池田 佐輪子						
授業概要	保育者として身につけておくべき子どもの健康および安全にかかわる知識技術について、授業を展開していきます。特に本科目は、既習「子どもの保健」で得た知識を実践学に展開する科目であり、保育にとって重要な要素である、乳幼児の生命保持と情緒の安定を図る養護に重要な技術です。 また、保育施設における各種ガイドラインや安全計画等、各種書類についても保育所園長での計画策定や実施経験から、それらを解説していきます。						
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク 演習	
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解できる 2. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解できる 3. こどもの体調不良等に対する適切な対応方法が身につく 4. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策を具体的に考えられる 5. 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく、子どもの発達や状態等に即した適切な対応が身につく 6. 関連ガイドラインを踏まえて子どもの健康及び安全に関わる保健計画が立案できる 7. 基本的な技術や応急処置法が指示通りできる						
理想的レベル	1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解できる 2. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解できる 3. こどもの体調不良等に対する適切な対応方法が身につく 4. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策を具体的に考えられる 5. 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく、子どもの発達や状態等に即した適切な対応が身につく 6. 関連ガイドラインを踏まえて子どもの健康及び安全に関わる組織的取り組みを含めた保健計画が立案できる。また、その評価等の必要性が理解できる 7. 根拠に基づく各種技術や応急処置法の基本的なスキルが身についている						
評価方法・評価割合							
評価方法			評価割合（数値）			備考	
試験			0				
小テスト			0				
レポート			0				
発表（口頭、プレゼンテーション）			60%			演習記録	
レポート外の提出物			35%				
その他			5%			積極性、授業貢献度など	

第 12 回	健康及び安全の管理の実施体制 母子保健・地域保健における自治体との連携
第 13 回	健康及び安全の管理の実施体制 家庭、専門機関、地域の関係機関等との連携
第 14 回	ヒヤリハットの事例研究と発表① グループに分かれ、実際にあった事故事例やヒヤリハット報告書の事例検討
第 15 回	ヒヤリハットの事例研究と発表② 14 回授業でまとめた事例検討について、要因と予防策を発表 まとめ
テキスト	保育所における感染症対策ガイドライン 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 保育所における食事の提供ガイドライン 保育施設のための防災ハンドブック 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 上記、子ども家庭庁 HP よりダウンロードすること 非売品
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	北九州市、福岡市、各自治体の保育書式 保育所における自己評価ガイドライン 北九州市児童福祉施設等評価基準 北九州市こども家庭局
課題に対す るフィード バックの方 法	演習記録を提出してもらいます。内容によってはコメントや更なる資料を付けたり、加筆修正を課 すことがあります。 質問等は其中でも記してください。授業内で口頭でフィードバックします。
学生へのメ ッセージ・ コメント	「子どもの保健」、「子どもと健康」、「保育内容「健康」の指導法」「子ども家庭支援の心理学」、「特 別支援教育論（障がい児保育含む）」、「障がい児保育演習」、「子育て支援」、「乳児保育 1・2」などの 科目と関連が深いため、既習の科目は復習をしておいてください。同時開講の科目は、関連性をも って受講してください。 ・「実技」は特に身だしなみを整えて臨んでください。ふさわしくない身だしなみの場合は、「実技」 をお断りすることがあることをご了承ください。 ・授業に際しては各種ガイドラインを基に現場を想定して演習をおこないます。常に最新の情報や 社会の動き、また、流行している感染症等に関心を寄せて演習に臨んでください。

